

# 百人一首大会 令和5年12月9日



令和5年12月9日(土)に、4年ぶりの開催となりました。茶道室をお借りし、1年生と2年生が集合しました。3年生は三者面談です。

## お試し大会

1年と2年の合学年で6つのグループが作られ、取り札を畳の上に並べ、朗詠を聞きます。さすがに、上の句だけを聞いて取れる人はほんの少数でした。下の句が始まると、目を凝らします。そして、見つけても、おっかなびっくりで、遠慮気味に札に手を伸ばす人がほとんどでした。



## 百人一首について

平安時代末期から鎌倉時代初期の頃の「ベスト短歌100」を、今から800年くらい前に藤原定家が京都の小倉山の山荘で選んだものです。そのことにちなんで小倉百人一首と呼ばれています。

上の句と下の句があり、下の句が歴史的仮名遣いで取り札に書かれています。濁点などは省略されているので、私たちに読むのが大変です。

## 個人戦一回戦 団体戦

慣れてきたところで、個人戦一回戦のスタートです。お手付きは札を返して、1回休みのルールです。静かにスタートしました。

1回戦が終わり、それぞれ取った札の数で順位を決めます。加えて、大日方先生がロイノートで配信してくれた資料で自分の得意歌を覚えませす。



## 個人戦二回戦

2回戦は、1回戦順位の同じ人が新しいグループを作ります。1位集団、2位集団・・・最後が6位集団です。

だいぶ、慣れてきました。手で札と畳をたたく音が大きくなってきました。特に、「ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川」への反応はすごかったです。漫画と映画の影響は大きいですね。

最後は、全員を4つのチームに分けて、団体戦を行いました。2チームが、100枚の取り札を囲みます。普段の騒がしさ(笑)、否、元気が戻ってきました。

スライディンググレーブの体勢で取る者もいて、場内騒然です。でも下の句が詠まれる前には、一瞬静寂が訪れます。これが百人一首大会です。あつという間の3時間でした。また、やりたいですね。



## 参加者の感想

○前にやったことがあったけど、お笑い要素があったり、面白い要素があって非常に楽しめました。特に(下の句)「あかつき・・・」のやつは一番確保対象にしていました。

○百人一首は難しく、かしまったイメージがあったけど、実際にやってみたら盛り上がってとても楽しかったです。上の句で取る事ができるようになりたいと思いました! 又やりたいです!



お笑い要素

○百人一首を初めてやって、もっと難しいのかと思ってたけど、意外に簡単で楽しかったです。機会があったらまたやりたいです。

○百人一首大会で新しい句を覚えることができました。チーム戦では人数が多すぎてあまり参戦できませんでしたが、みんな協力できて良かったです。もう、百人一首は飽きました。楽しかったです。